体験部活動の開催にあたって

「あの素晴らしい夏をもう一度」

白岡高校野球部は2015年の夏、第97回全国高等学校野球選手権埼玉県大会で甲子園まであと一歩の準優勝という結果を残し、県内に「白岡旋風」を巻き起こしました。しかし、それから10年以上が経過し、コロナ禍に加え、当時1学年7クラスだったところから1学年4クラスに減少したことや私学の授業料無償化なども相まって、白岡高校における野球部員は減少しています。それでも、準優勝のインパクトは今なお強く残っており、私自身も白岡高校への異動が決まった際には、「もう一度あの景色を見せてほしい」と多くの白岡市民の方から言われたことを覚えています。

現時点では、3年生8名、2年生9名、1年生6名（うちマネージャー1名）の23名が日々頑張っており、近隣の高校の中では部員数がある程度確保できている状況です。しかし、日本全国で公立高校の倍率が軒並み「1．0」に届かなくなり、野球部においては日本各地で連合チームが増え続けている今、いつ白岡高校野球部が単独でチームを組めなくなるかは分からないというのが現実です。

今春は県大会への出場こそ逃しましたが、代表決定戦では昨夏の甲子園出場校である叡明高校を相手に先制点をもぎ取り、6回まで3－5と粘り強く戦い、相手の監督からもお褒めの言葉をいただきました。現在の白岡高校野球部に所属する生徒は中学時代にクラブチームなどでバリバリのレギュラーで活躍していた選手はそれほど多くありません。入部してきたときには自信がなく、「野球が好き」という気持ちだけを持って入部してくる状態です。ただ、暑い夏も寒い冬も練習を積み重ね、練習試合で結果を残し、公式戦で実力を出し切る中で、入部した当初とは見違えるように成長していきます。現在のキャプテンで4番を打っている生徒は中学時代、ほとんど出番がなかった選手ですし、昨秋に東部地区選抜に選ばれた選手は中学時代、不登校も経験した生徒です。それでも、「自分を変えたい」、「成長したい」というような強い気持ちを持って白岡高校の野球部に入部し、頑張ってくれる生徒たちは本当にたくましく成長していきます。

「どうせ公立だから」とか「部員が少ないから」というような言い訳はしたくありませんし、するつもりもありません。どうせやるからには全力で、白岡高校野球部のやり方を正解だと証明できるように指導者、選手ともに取り組んでいます。白岡高校の野球部に入部してくれた選手たちが他の野球部の選手たちに比べて伸びるのは、「白岡高校の野球部だから」と言い切れる環境と仕組みのおかげです。人数が多くないからこそ、誰でも試合に出られるチャンスがありますし、その試合での経験を通じて成長することができるのは間違いありません。

指導者についても、2人とも大学まで硬式野球部に所属して（武蔵大学・埼玉大学）主力選手として活躍し、主将を務めた経験がある他、指導者としても県の上位まで進出した経験を持っています。

この夏は、7/26（日）、8/8（土）、8/29（土）に体験部活動を開催します。ぜひ、今回開催される体験部活動に参加することで、白岡高校野球部の環境の良さと「成長する仕組み」を体験してください。1人でも多くの方に参加していただき、白岡高校野球部の魅力を知ってもらえることを心待ちにしています。

我々と一緒に2度目の「白岡旋風」を巻き起こしましょう。皆さんの体験部活動への参加をお待ちしています。

部長　金子　章太郎

監督　荒井　秀樹